

第57回
市政世論調査
(概要版)



令和7年

府 中 市

< 目 次 >

府中市市政世論調査について	1
回答者の概要	2
【住み心地】について	3
■ 府中市は住みよいところだと感じるか	3
【住まいの環境】について	4
■ 身近な住まいの環境についての感想	4
【生活の満足度】について	5
■ 現在の生活にどの程度満足しているか	5
【定住意向】について	6
■ 今後も府中市に住み続けたいと思うか	6
【市政に関する関心度】について	7
■ 市政にどの程度関心を持っているか	7
【市への要望】について	8
■ 府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと	8
【市民協働の更なる推進に向けて】について	10
■ 「協働」という言葉を知っているかについて	10
■ 近隣住民の方や地域の企業等との連携希薄化の原因について	10
■ 市民同士や地域に根差した団体・法人との連携を強化していくために、 最も効果的な方策について	11
【府中市の歌に関する関心度】について	12
■ 府中市の小学校または中学校の卒業生かについて	12
■ 府中市の歌の認知度について	12
■ 新しい府中市の歌を作ってほしいかについて	13
【窓口の混雑対策及びコンビニ交付サービス利用】について	14
■ コンビニ交付サービスの利用有無について	14
■ コンビニ交付サービスの方が手数料が低い場合の利用意向について	14
■ コンビニ交付サービスでは証明書を100円で取得できることへの 認知度について	15
■ 新庁舎へ移転後にしたことのある手続について	15
■ 手続時間として適当だと感じる時間について	16
■ 郵便局でできると良い手続について	16
【観光】について	17
■ 市の観光について知名度、来訪の有無、満足度	17

【スポーツ・運動】について	20
■ 1年間に行ったスポーツや運動について	20
■ 1年間で観戦した、府中市を拠点に活動するトップチームについて	21
■ スポーツに関するボランティアにおける考えと活動状況について	21
■ 障害者スポーツ（パラスポーツ）に関わった経験について	22
■ 郷土の森総合体育館の移転予定の認知度について	22
【図書館】について	23
■ 1か月で読んだ本の冊数について	23
■ 中央図書館・地区図書館の利用頻度について	23
【東京2025デフリンピック】について	25
■ デフリンピックの競技開催についての認知度について	25
■ 「府中市手話の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」の 認知度について	25
■ デフリンピック開催後も継続・拡充すべきだと思うものについて	26
【障害者に対する差別・偏見】について	27
■ 「障害者差別解消法」の内容の認知度について	27
■ 障害者差別の解消に向けた、伝わりやすいと思う普及啓発方法に ついて	27
【景観まちづくり】について	28
■ 市の景観は魅力的かについて	28
■ 「府中市景観計画」に基づき良好な景観形成を推進していることの 認知度について	28
■ 景観まちづくりの取組について、今後、市で力を入れてほしいこと について	29

府中市市政世論調査について

府中市で、毎年実施してまいりました世論調査も、今回で第 57 回となります。

この世論調査は、市政に対するご意見・ご要望をお聞きし、諸施策に対する市民の皆様の考えを把握することによって、今後の市政運営上の参考にさせていただくことを目的としております。

今回は市政全般のほか、「市民協働の更なる推進に向けて」「府中市の歌に関する関心度」「窓口の混雑対策及びコンビニ交付サービス利用」「観光」「スポーツ・運動」「図書館」「東京 2025 デフリンピック」「障害者に対する差別・偏見」「景観まちづくり」についてお聞きしました。

調査の方法

- (1) 調査地域 : 府中市全域
- (2) 調査対象者 : 府中市内の 18 歳以上の個人
- (3) 調査数 : 1, 500 人
- (4) 抽出方法 : 地点を用いた二段抽出法
(住民基本台帳の登録人口を 11 の地区に分け、その構成比により無作為に抽出する方法)
- (5) 調査方法 : 郵送法(郵送配布、郵送・WEB 併用回収)
- (6) 調査期間 : 令和 7 年 5 月 12 日(月)～7 月 11 日(金)
- (7) 回収数(率) : 879 (58.6%)

調査の内容

- | | | |
|--------------|--------------------------|---------------------|
| 1. 住み心地 | 6. 市への要望 | 11. スポーツ・運動 |
| 2. 住まいの環境 | 7. 市民協働の更なる推進に向けて | 12. 図書館 |
| 3. 生活の満足度 | 8. 府中市の歌に関する関心度 | 13. 東京 2025 デフリンピック |
| 4. 定住意向 | 9. 窓口の混雑対策及びコンビニ交付サービス利用 | 14. 障害者に対する差別・偏見 |
| 5. 市政に関する関心度 | 10. 観光 | 15. 景観まちづくり |

注意事項

本書をご覧になる場合、次の点に注意してください。

- (1) 百分率(%)の計算は、小数点第 2 位を四捨五入して表示しています。
このため、単数回答(1 つだけ選ぶ設問)に表示された百分率を足し合わせても 100%にならない場合があります。また、複数回答(2 つ以上選んでよい設問)の設問の場合、百分率を足し合わせると 100%を超える場合があります。
- (2) 図、表に表示された「n」は、各設問に対する回答者数を表します。
- (3) 本書は、各調査内容における主設問のみを抜粋掲載している概要版です。

回答者の概要

1. 性別

	回答者数(人)	構成比(%)
男性	378	43.0
女性	469	53.4
回答しない	26	3.0
無回答	6	0.7

2. 年齢

	回答者数(人)	構成比(%)
18～29 歳	70	8.0
30～39 歳	115	13.1
40～49 歳	185	21.0
50～59 歳	217	24.7
60～69 歳	137	15.6
70 歳以上	134	15.2
回答しない	16	1.8
無回答	5	0.6

3. 未婚・既婚の別

	回答者数(人)	構成比(%)
未婚	211	24.0
既婚（離別・死別含む）	632	71.9
回答しない	28	3.2
無回答	8	0.9

4. 職業

	回答者数(人)	構成比(%)
事務職	125	14.2
専門・技術職	199	22.6
労務・サービス職	66	7.5
役員・管理職	52	5.9
商・工・サービス業	28	3.2
自由業	25	2.8
農林漁業	2	0.2
内職・パート・フリーター	107	12.2
家事専業	104	11.8
学生	19	2.2
無職	99	11.3
回答しない	34	3.9
無回答	19	2.2

5. ライフステージ

	回答者数(人)	構成比(%)
独身期	111	12.6
家族形成期	61	6.9
家族成長前期	93	10.6
家族成長後期・家族成熟期	154	17.5
高齢期	110	12.5
高齢者世帯	137	15.6
その他	184	20.9
無回答	29	3.3

6. 地区

地区名	総人口(人)	対象者(人)	調査数	回収数	回収率(%)	構成比(%)
紅葉丘文化センター	22,593	19,083	127	74	58.3%	8.4
白糸台文化センター	30,727	26,418	180	101	56.1%	11.5
押立文化センター	9,423	8,188	54	36	66.7%	4.1
是政文化センター	23,577	20,171	135	86	63.7%	9.8
住吉文化センター	27,051	23,044	154	83	53.9%	9.4
片町文化センター	29,705	25,595	174	106	60.9%	12.1
中央文化センター	44,378	37,840	257	150	58.4%	17.1
新町文化センター	25,911	22,274	150	80	53.3%	9.1
武蔵台文化センター	13,868	11,992	82	49	59.8%	5.6
西府文化センター	19,287	16,065	108	62	57.4%	7.1
四谷文化センター	14,238	11,767	79	52	65.8%	5.9
計	260,758	222,437	1,500	879	58.6%	100.0

上記対象者は、令和7年4月1日現在で満18歳以上の人口である。

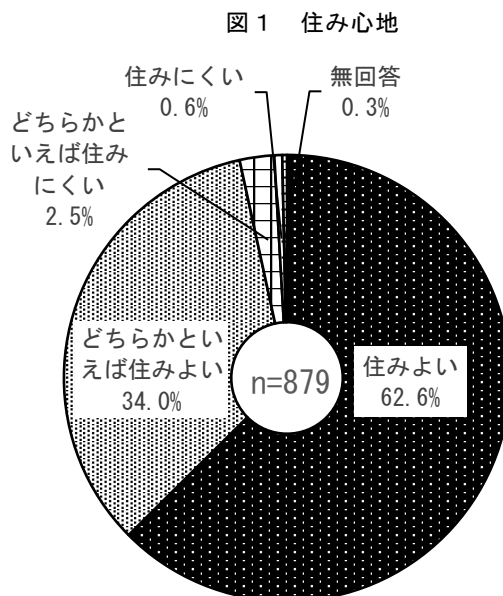
【住み心地】について

■府中市は住みよいところだと感じるか（n=879）

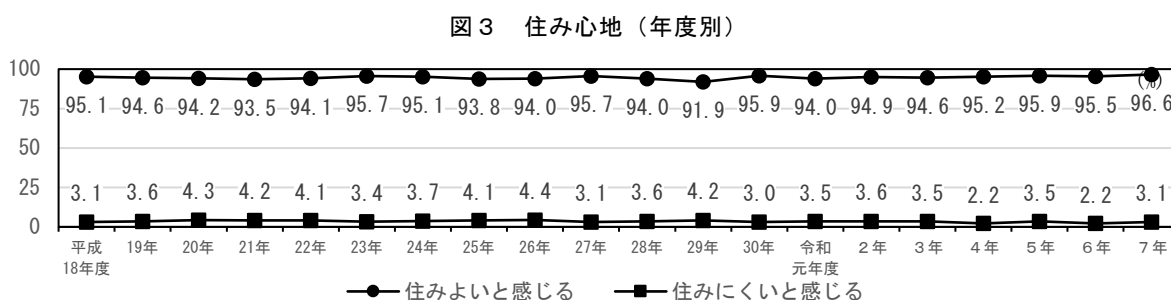
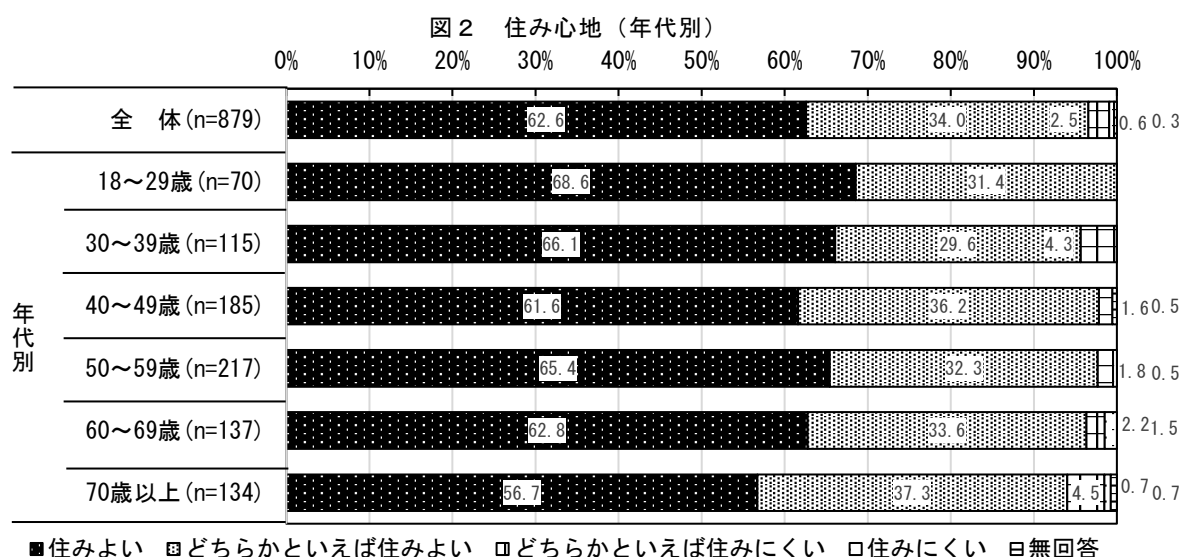
「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、9割半ばが『府中市は住みよい』と感じている。

「住みよい」（62.6%）と「どちらかといえば住みよい」（34.0%）を合わせた『住みよいと感じる』（96.6%）割合は、9割半ばとなっている。

また、「住みにくい」（0.6%）と「どちらかといえば住みにくい」（2.5%）を合わせた『住みにくいと感じる』（3.1%）割合は1割に満たない。



年代別では、『住みよいと感じる』割合は、「18～29歳」（100.0%）が最も高く、「70歳以上」（94.0%）が最も低い。年度別にみると、『住みよいと感じる』割合は、9割台を維持している。



【住まいの環境】について

■身近な住まいの環境についての感想（n=879）

「非常によい」と「まあよい」を合わせた『よいと感じる』住まいの環境は、「緑の豊かさ」、「風通し、日当たり」、「日常の買い物の便」の順になっている。「あまりよくない」と「非常に悪い」を合わせた『よくないと感じる』住まいの環境は、「蚊やハエの発生の防止」、「騒音や振動の防止」、「交通安全対策」の順になっている。

図4 身近な住まいの環境についての感想

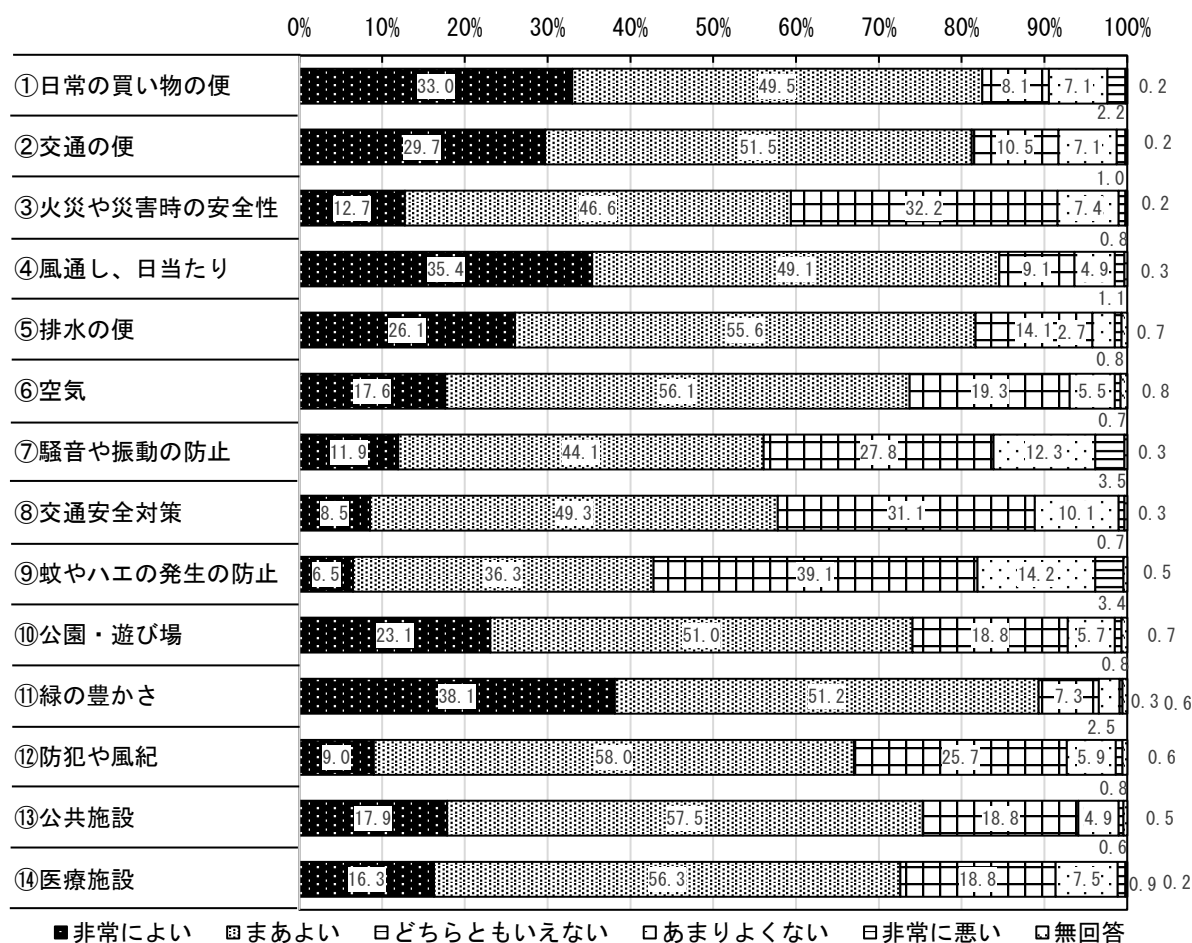


表1 『よいと感じる』割合の順

順位	住まいの環境	よいと感じる (%)
1位	⑪緑の豊かさ	89.3
2位	④風通し、日当たり	84.5
3位	①日常の買い物の便	82.5
4位	⑤排水の便	81.7
5位	②交通の便	81.2
6位	⑬公共施設	75.4
7位	⑩公園・遊び場	74.1
8位	⑥空気	73.7
9位	⑭医療施設	72.6
10位	⑫防犯や風紀	67.0
11位	③火災や災害時の安全性	59.3
12位	⑧交通安全対策	57.8
13位	⑦騒音や振動の防止	56.0
14位	⑨蚊やハエの発生の防止	42.8

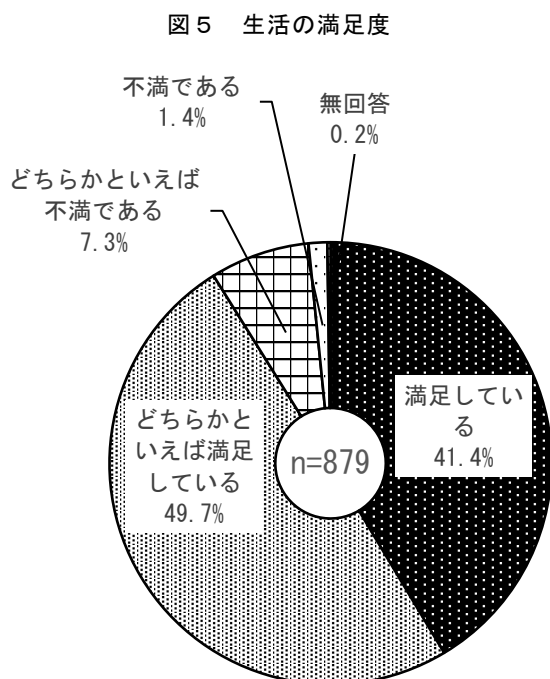
表2 『よくないと感じる』割合の順

順位	住まいの環境	よくないと感じる (%)
1位	⑨蚊やハエの発生の防止	17.6
2位	⑦騒音や振動の防止	15.8
3位	⑧交通安全対策	10.8
4位	①日常の買い物の便	9.3
5位	⑭医療施設	8.4
6位	③火災や災害時の安全性	8.2
7位	②交通の便	8.1
8位	⑫防犯や風紀	6.7
9位	⑩公園・遊び場	6.5
10位	⑥空気	6.2
11位	④風通し、日当たり	6.0
12位	⑬公共施設	5.5
13位	⑤排水の便	3.5
14位	⑪緑の豊かさ	2.8

【生活の満足度】について

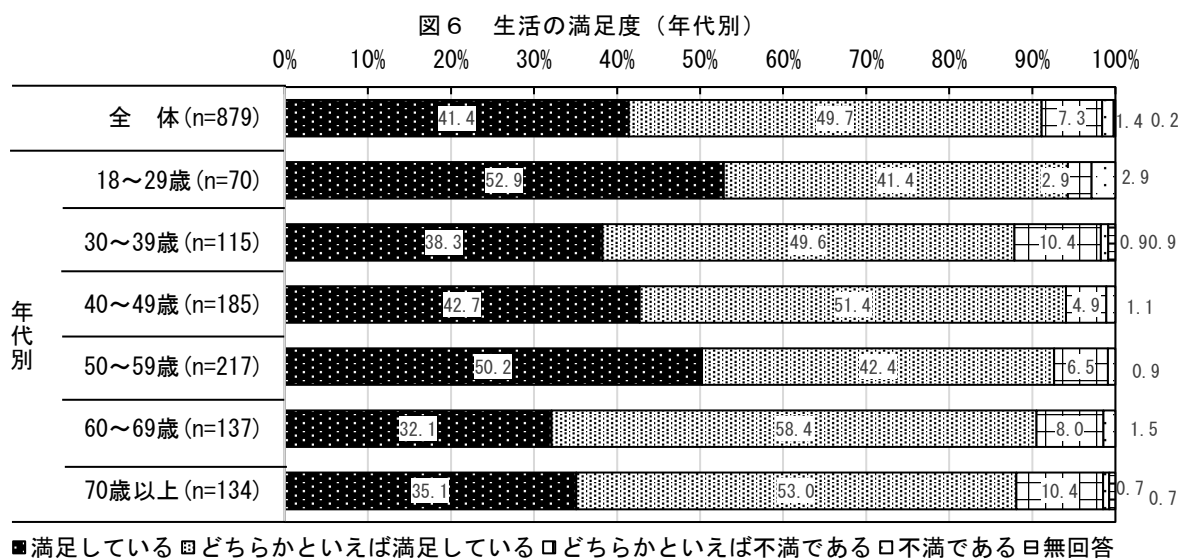
■現在の生活にどの程度満足しているか（n=879）

「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせると、約 9 割以上が『生活に満足している』と感じている。



「満足している」（41.4%）と「どちらかといえば満足している」（49.7%）を合わせた『満足と感じている』割合は、9 割を超えている。一方、「不満である」（1.4%）と「どちらかといえば不満である」（7.3%）を合わせた『不満と感じている』（8.7%）割合は、1 割に満たない。

年代別では、「満足している」と「どちらかといえば満足している」を合わせた『満足と感じていると感じる』割合は、「18～29 歳」（94.3%）が最も高く、「30～39 歳」（87.9%）が最も低い。

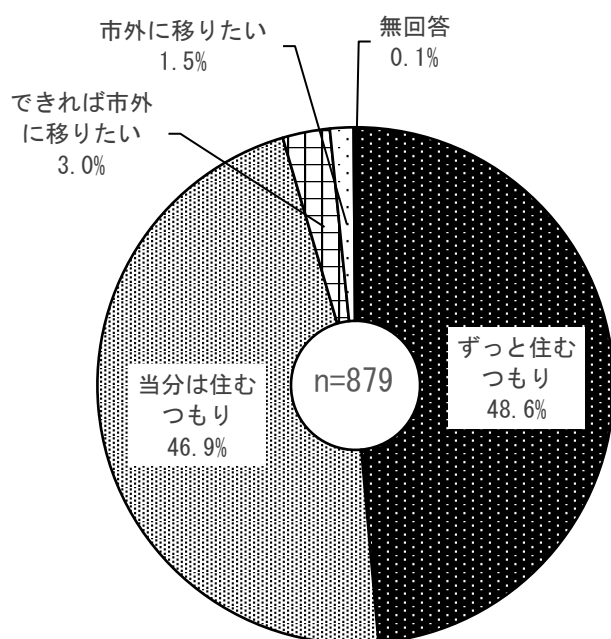


【定住意向】について

■今後も府中市に住み続けたいと思うか（n=879）

「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせると、9割以上が『今後も府中市に住み続けたい』と感じている。

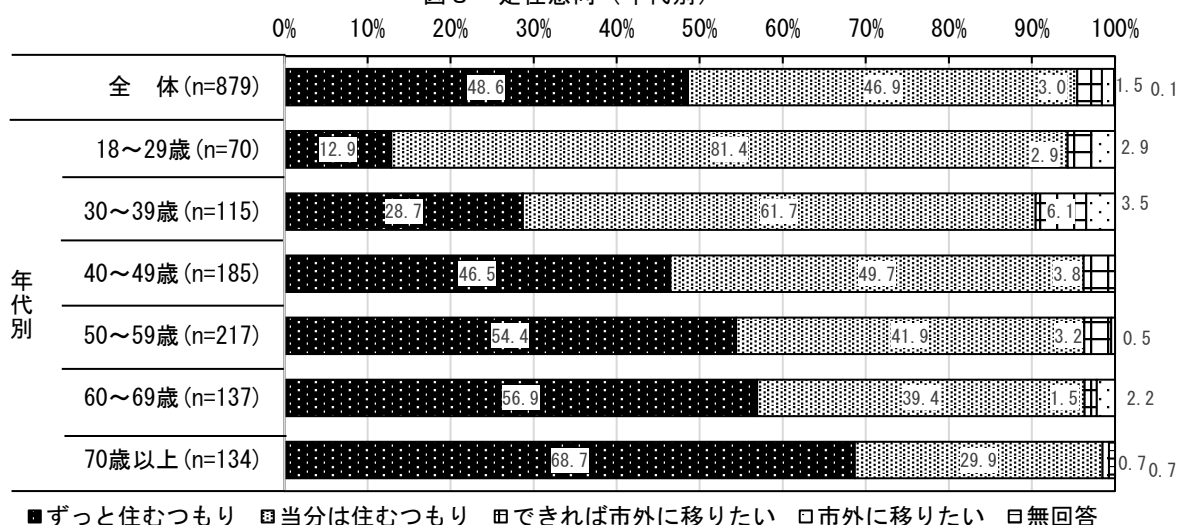
図7 定住意向



「ずっと住むつもり」（48.6%）と「当分は住むつもり」（46.9%）を合わせた『住み続けたいと感じている』（95.5%）割合は、9割を超えている。一方、「できれば市外に移りたい」（3.0%）と「市外に移りたい」（1.5%）を合わせた『市外に移りたいと感じている』（4.5%）割合は、1割に満たない。

年代別では、「ずっと住むつもり」と「当分は住むつもり」を合わせた『住み続けたいと感じている』割合は、「70歳以上」（98.6%）が最も高く、「30～39歳」（90.4%）が最も低い。

図8 定住意向（年代別）

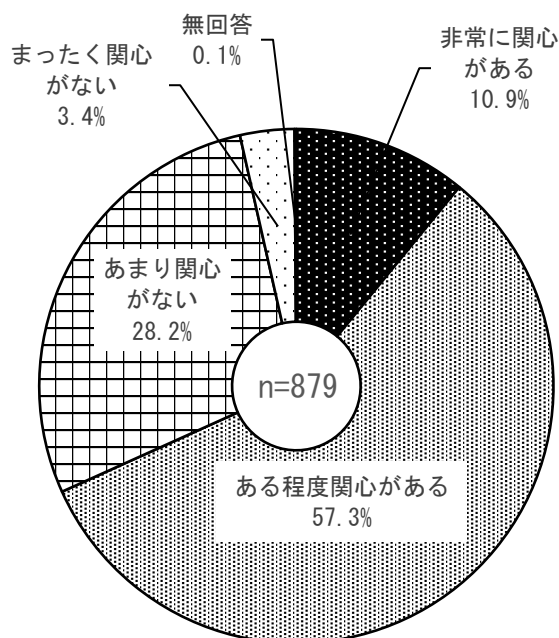


【市政に関する関心度】について

■ 市政にどの程度関心を持っているか（n=879）

「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせると、7割近くが市政に関心を持っている。

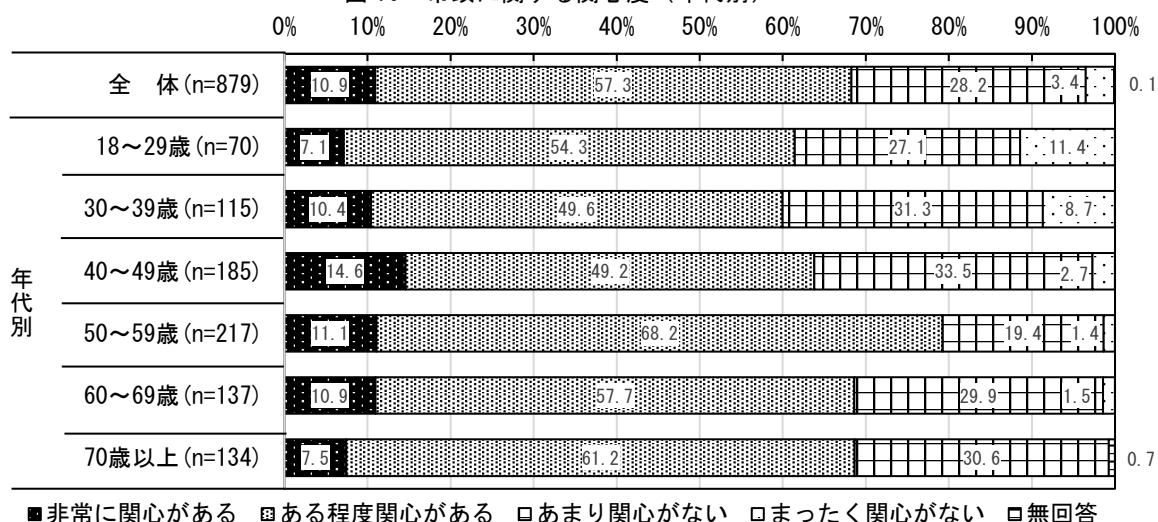
図9 市政に関する関心度



市政に関する関心度では、「非常に関心がある」（10.9%）と「ある程度関心がある」（57.3%）を合わせた『市政に関心がある』（68.2%）割合は、7割近くとなっている。一方、「まったく関心がない」（3.4%）と「あまり関心がない」（28.2%）を合わせた『市政に関心がない』（31.6%）割合は、約3割となっている。

年代別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた『市政に関心がある』割合は、「50～59歳」（79.3%）が最も高く、「30～39歳」（60.0%）が最も低い。

図10 市政に関する関心度（年代別）

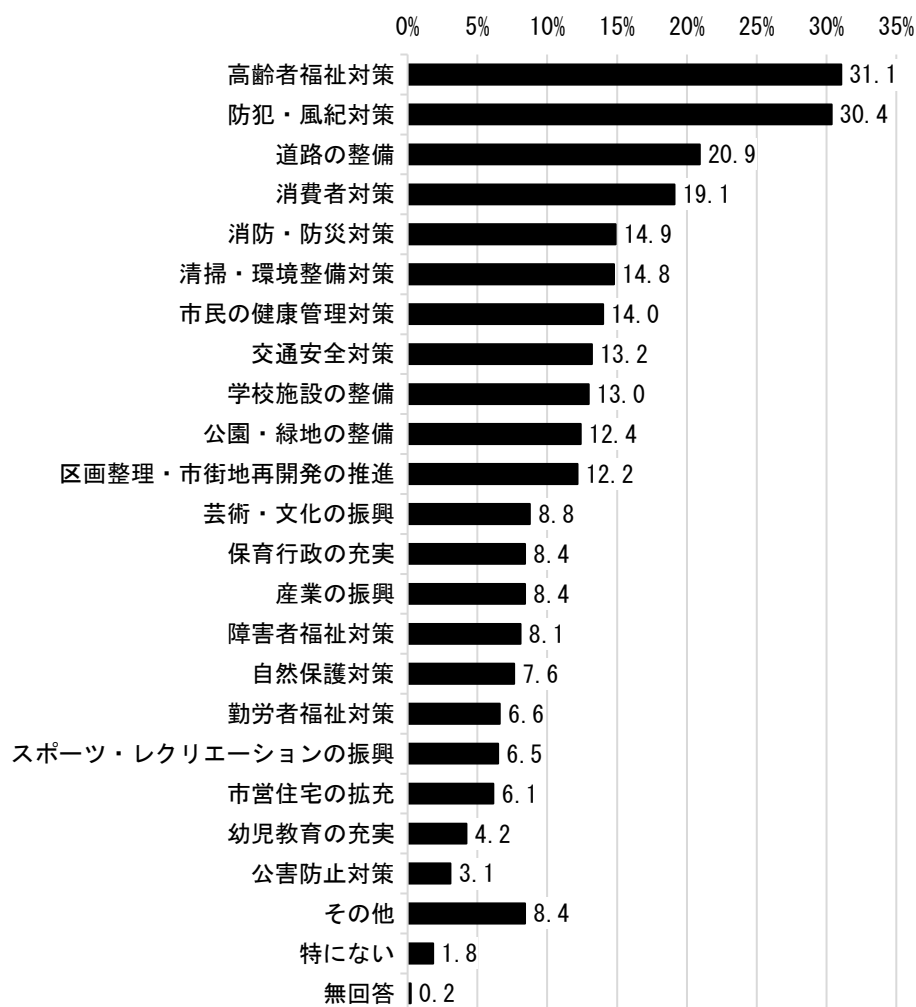


【市への要望】について

■府中市に対しこれから特に力を入れてほしいこと (n=879：複数回答)

市への要望は、「高齢者福祉対策」(31.1%)が最も高く、続いて「防犯・風紀対策」(30.4%)、道路の整備(20.9%)、「消費者対策」(19.1%)の順となっている。

図 11 市への要望

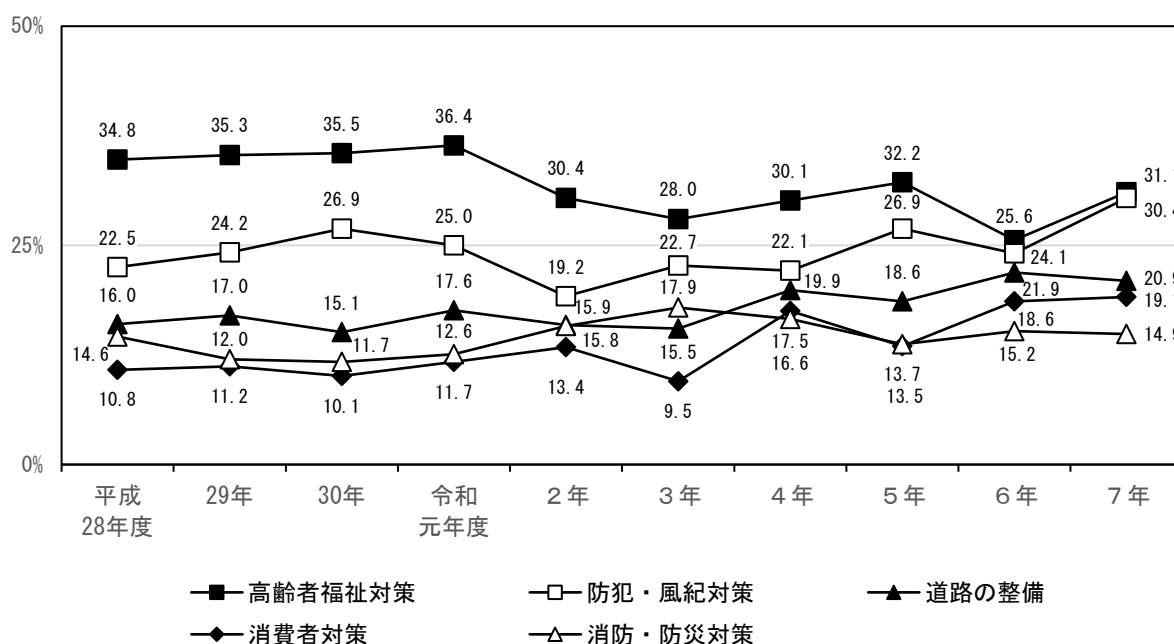


上位 5 項目について平成 28 年度からの順位変動をみると、今年度 1 位の「高齢者福祉対策」と 2 位の「防犯・風紀対策」の順位に変動はみられない。3 位の「道路の整備」は平成 28 年度から常に上位 5 位に入っている。4 位の「消費者対策」は、令和 5 年度は 6 位だったが令和 4 年度から上位に入っている。5 位の「消防・防災対策」は令和 2 年度から上位 5 位に入っている。

表 3 市への要望 経年推移（上位 5 位）

	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
令和 7 年度	879	高齢者福祉対策 31.1%	防犯・風紀対策 30.4%	道路の整備 20.9%	消費者対策 19.1%	消防・防災対策 14.9%
6 年	821	高齢者福祉対策 25.6%	防犯・風紀対策 24.1%	道路の整備 21.9%	消費者対策 18.6%	消防・防災対策 15.2%
5 年	914	高齢者福祉対策 32.2%	防犯・風紀対策 26.9%	道路の整備 18.6%	公園・緑地の整備 13.9%	消防・防災対策 13.7%
4 年	845	高齢者福祉対策 30.1%	防犯・風紀対策 22.1%	道路の整備 19.9%	消費者対策 17.5%	消防・防災対策 16.6%
3 年	845	高齢者福祉対策 28.0%	防犯・風紀対策 22.7%	市民の健康管理対策 18.0%	消防・防災対策 17.9%	道路の整備 15.5%
2 年	900	高齢者福祉対策 30.4%	防犯・風紀対策 19.2%	市民の健康管理対策 18.0%	道路の整備 15.9%	消防・防災対策 15.8%
元年	992	高齢者福祉対策 36.4%	防犯・風紀対策 25.0%	道路の整備 17.6%	交通安全対策 17.1%	市民の健康管理対策 16.3%
平成 30 年度	1021	高齢者福祉対策 35.5%	防犯・風紀対策 26.9%	市民の健康管理対策 17.8%	学校施設の整備 15.3%	道路の整備/ 清掃・環境整備対策 15.1%
29 年	1103	高齢者福祉対策 35.3%	防犯・風紀対策 24.2%	市民の健康管理対策 17.4%	道路の整備 17.0%	保育行政の充実 15.4%
28 年	996	高齢者福祉対策 34.8%	防犯・風紀対策 22.5%	市民の健康管理対策 19.7%	保育行政の充実 18.6%	道路の整備 16.0%

図 12 市への要望 経年推移（上位 5 位）

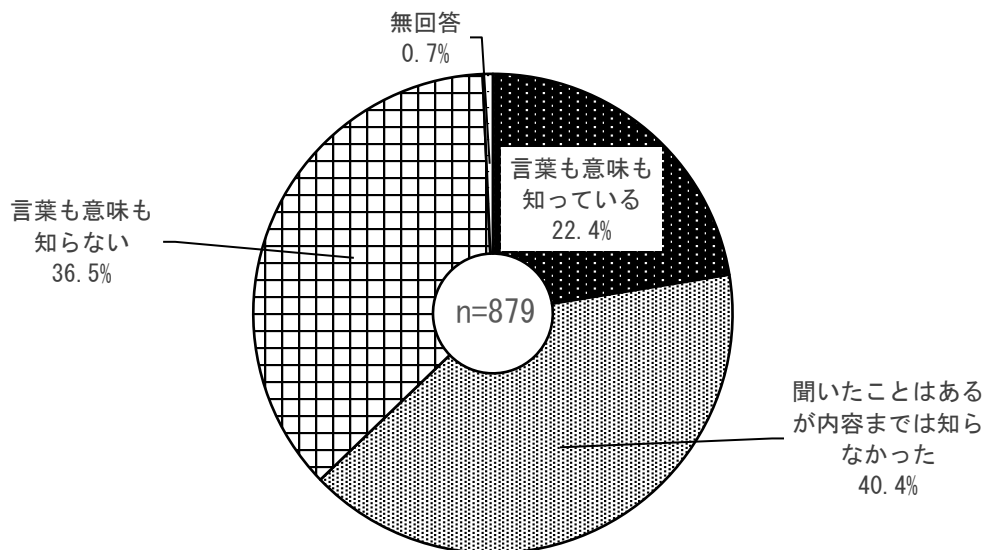


【市民協働の更なる推進に向けて】について

■「協働」という言葉を知っているかについて（n=879）

「協働」の認知について、「聞いたことはあるが内容までは知らなかった」（40.4%）が最も高く、続いて「言葉も意味も知らない」（36.5%）、「言葉も意味も知っている」（22.4%）の順となっている。

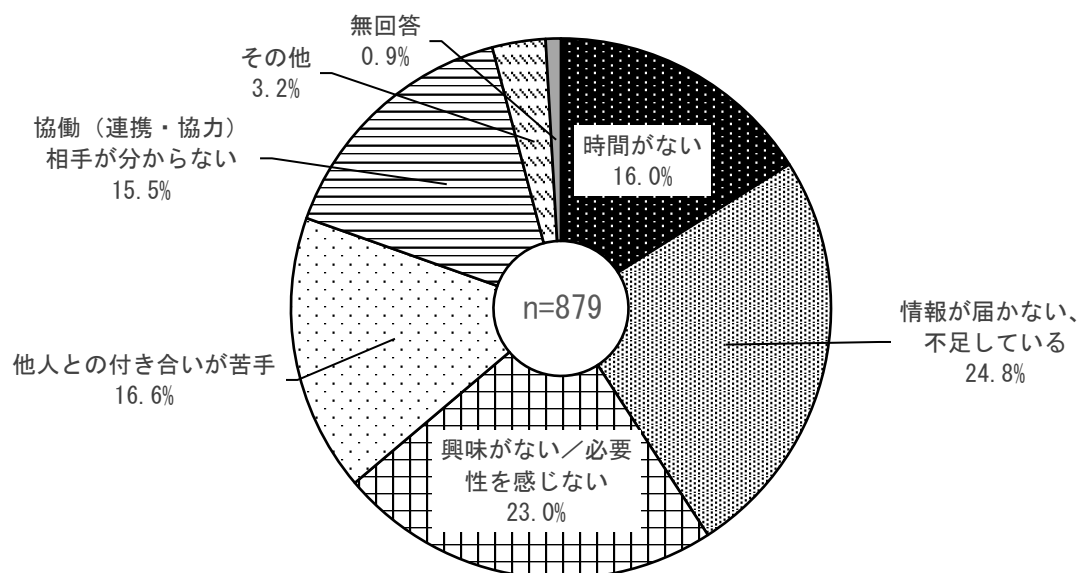
図 13 「協働」という言葉を知っているか



■近隣住民の方や地域の企業等との連携希薄化の原因について（n=879）

近隣住民の方や地域の企業等との連携希薄化の原因と思われるのは、「情報が届かない、不足している」（24.8%）が最も高く、続いて「興味がない／必要性を感じない」（23.0%）、「他人との付き合いが苦手」（16.6%）の順となっている。

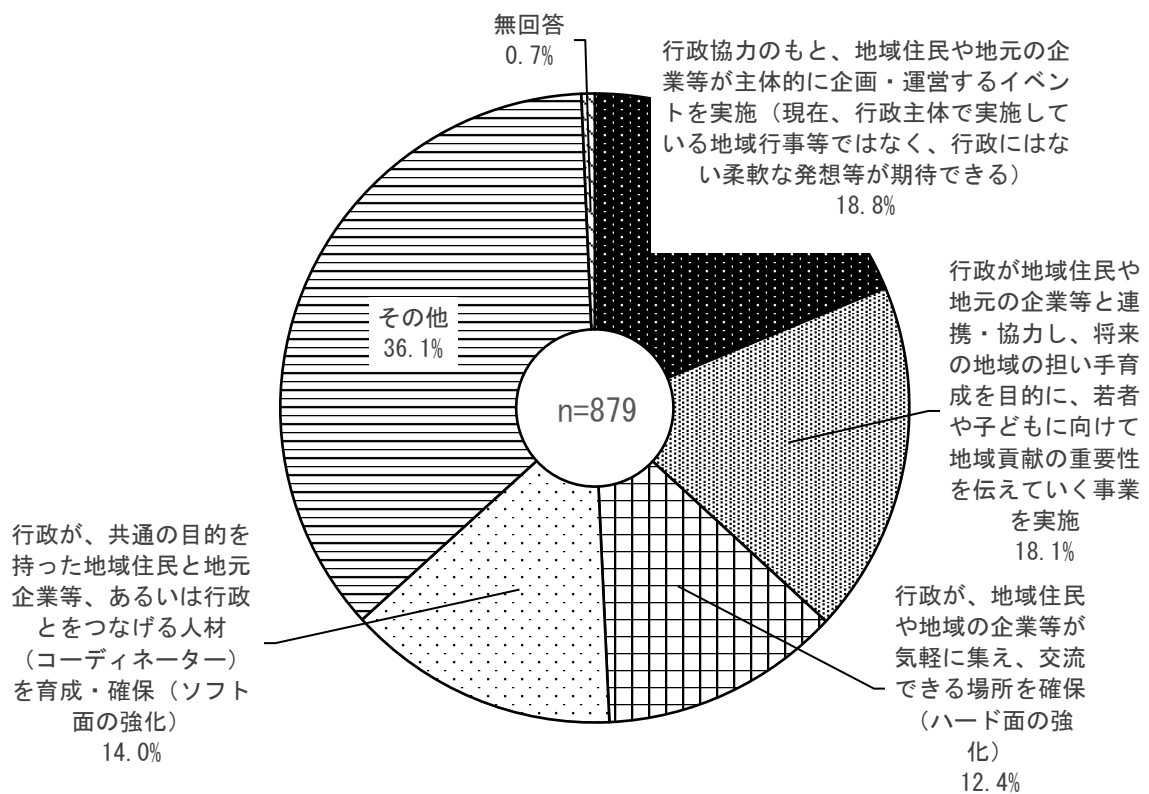
図 14 近隣住民の方や地域の企業等との連携希薄化の原因



■ 市民同士や地域に根差した団体・法人との連携を強化していくために、最も効果的な方策について（n=879）

市民同士や地域に根差した団体・法人との連携を強化（活性化）していくために、最も効果的な方策は、「行政協力のもと、地域住民や地元の企業等が主体的に企画・運営するイベントを実施（現在、行政主体で実施している地域行事等ではなく、行政にはない柔軟な発想等が期待できる）」（18.8%）が最も高く、続いて「行政が地域住民や地元の企業等と連携・協力し、将来の地域の担い手育成を目的に、若者や子どもに向けて地域貢献の重要性を伝えていく事業を実施」（18.1%）、「行政が、共通の目的を持った地域住民と地元企業等、あるいは行政とをつなげる人材（コーディネーター）を育成・確保（ソフト面の強化）」（14.0%）の順で高くなっている。

図 15 市民同士や地域に根差した団体・法人との連携を強化していくために、最も効果的な方策



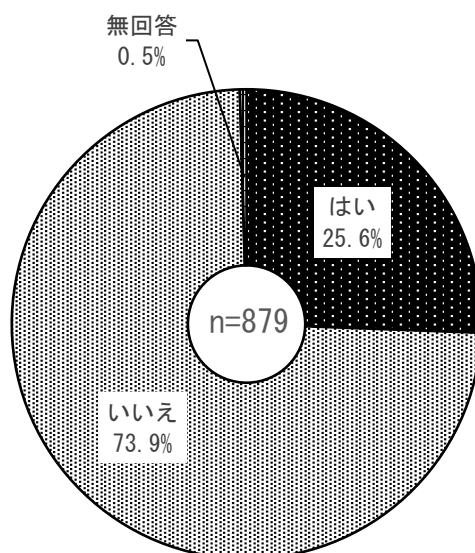
【府中市の歌に関する関心度】について

■府中市の小学校または中学校の卒業生かについて（n=879）

府中市立の小学校または中学校の卒業生であるかは、「いいえ」（73.9%）が 7 割を超えている。

一方、「はい」（25.6%）は 2 割台半ばとなっている。

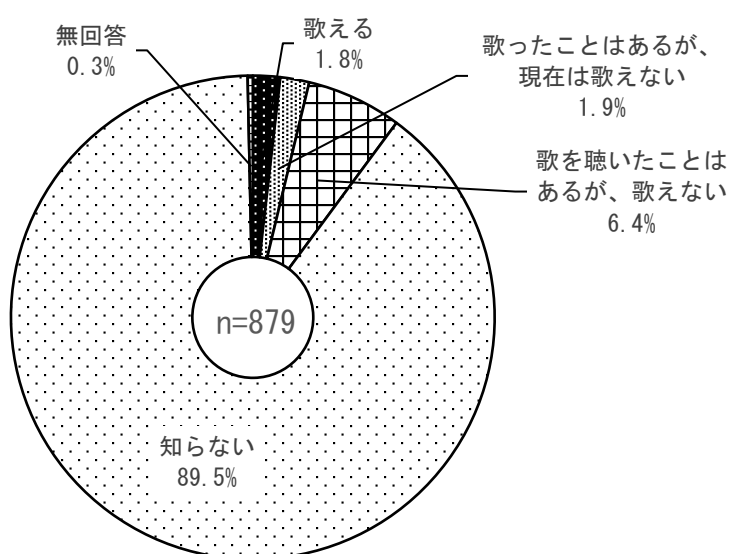
図 16 府中市の小学校または中学校の卒業生か



■府中市の歌の認知度について（n=879）

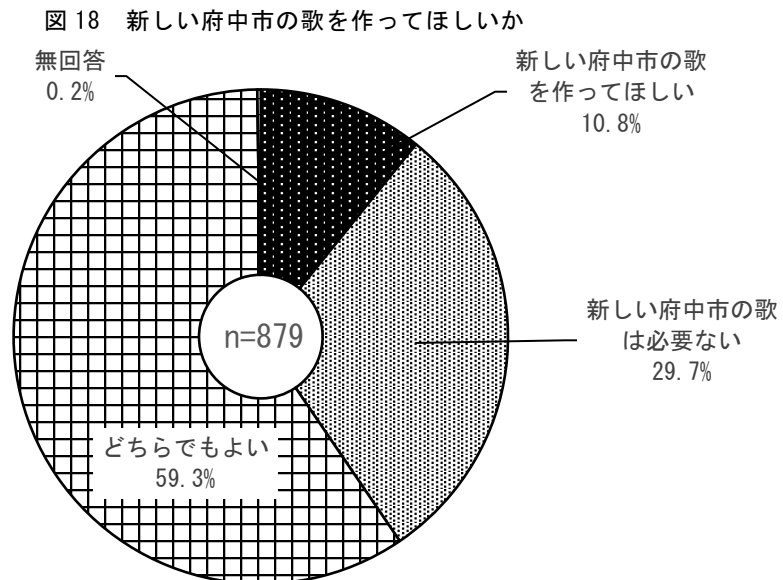
府中市の歌の認知度については、「知らない」（89.5%）が 9 割近くで最も高く、続いて「歌を聴いたことはあるが、歌えない」（6.4%）、「歌ったことはあるが、現在は歌えない」（1.9%）、「歌える」（1.8%）の順となっている。

図 17 府中市の歌の認知度



■新しい府中市の歌を作ってほしいかについて（n=879）

新しい府中市の歌の制定について、「どちらでもよい」（59.3%）が最も高く、続いて「新しい府中市の歌は必要ない」（29.7%）、「新しい府中市の歌を作ってほしい」（10.8%）の順となっている。

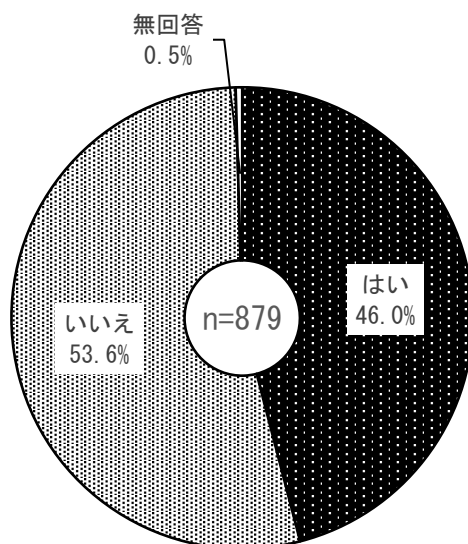


【窓口の混雑対策及びコンビニ交付サービス利用】について

■コンビニ交付サービスの利用有無について（n=879）

証明書のコンビニ交付サービスの利用有無は、「いいえ」（53.6%）が半数以上となっている。

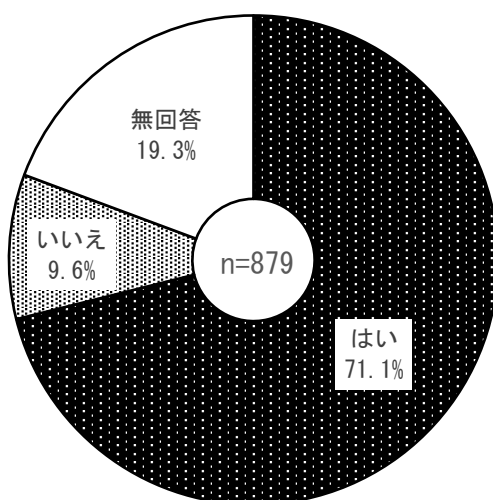
図 19 コンビニ交付サービスの利用有無



■コンビニ交付サービスの方が手数料が低い場合の利用意向について（n=879）

コンビニ交付サービスを利用したほうが証明書発行手数料が低い場合の利用意向は、「はい」（71.1%）が7割を超えている。

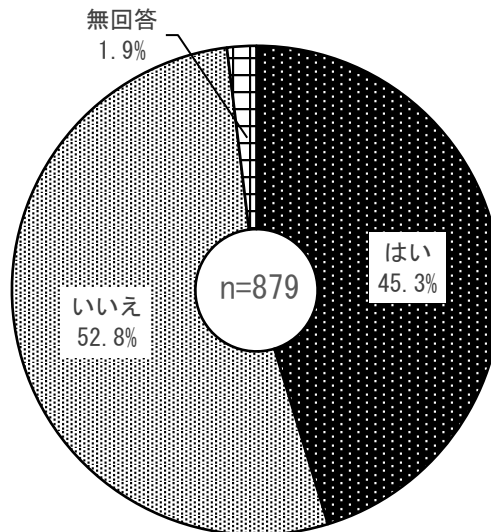
図 20 コンビニ交付サービスの方が手数料が低い場合の利用意向



■コンビニ交付サービスでは証明書を100円で取得できることへの認知度について（n=879）

コンビニ交付サービスでは証明書を100円で取得できることへの認知度について、「いいえ」（52.8%）が半数を超えている。

図 21 コンビニ交付サービスでは証明書を100円で取得できることへの認知度

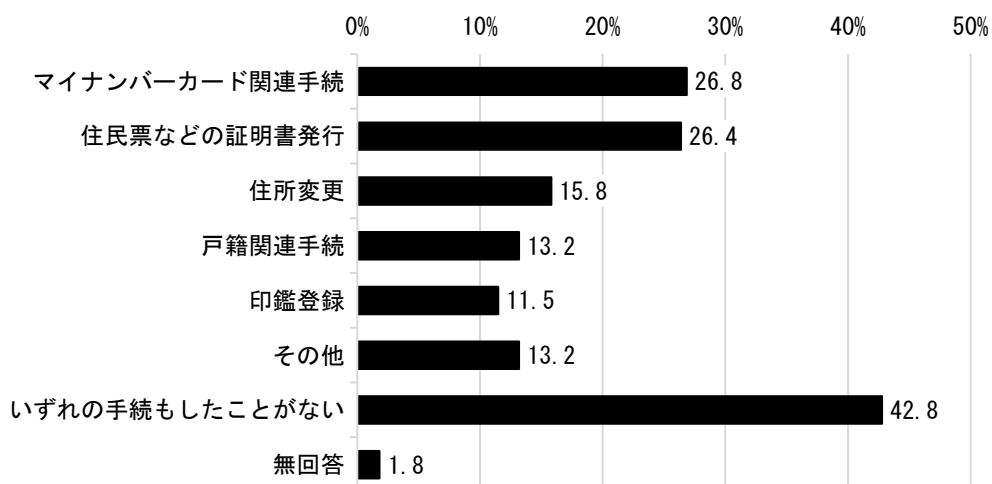


■新庁舎へ移転後にしたことのある手続について（n=879：複数回答）

新庁舎へ移転後にしたことのある手続は「マイナンバーカード関連手続」（26.8%）が最も高く、続いて「住民票などの証明書発行」（26.4%）、「住所変更」（15.8%）の順となっている。

一方、「いずれの手続もしたことがない」（42.8%）が4割を超えている。

図 22 新庁舎へ移転後にしたことのある手続

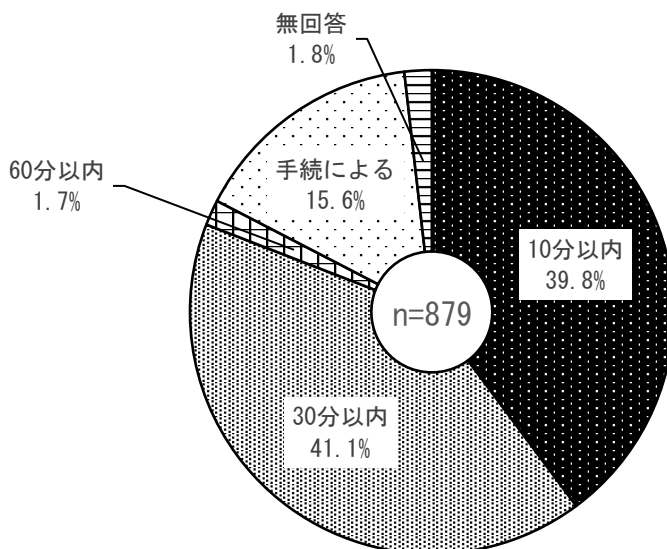


■ 手続時間として適当だと感じる時間について（n=879）

手続時間として適当だと感じるのは、「30 分以内」（41.1%）が最も高く、続いて「10 分以内」（39.8%）となっている。

一方、「手続による」（15.6%）が 1 割を超えている。

図 23 手続時間として適当だと感じる時間

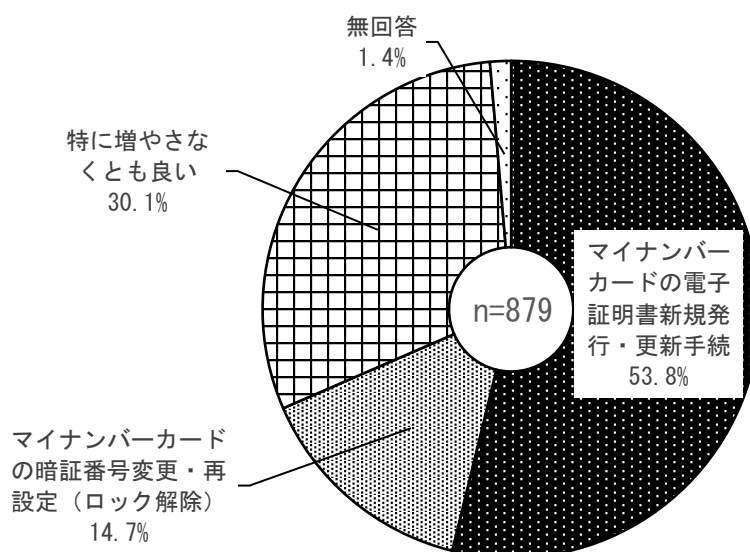


■ 郵便局でできると良い手続について（n=879）

郵便局でできると良い手続は、「マイナンバーカードの電子証明書新規発行・更新手続」（53.8%）が最も高く、半数を超える。

一方、「特に増やさなくとも良い」（30.1%）が約 3 割となっている。

図 24 郵便局でできると良い手続



【観光】について

■市の観光について知名度、来訪の有無、満足度（n=879）

市の観光地についての知名度は、「知っている」は「大國魂神社」（99.1%）が最も高い。続いて、「多磨霊園」（94.7%）、「JRA 競馬博物館」（94.0%）となっている。

市の観光地についての来訪の有無については、「行ったことがある」は「大國魂神社」（97.2%）が最も高い。続いて「馬場大門のケヤキ並木」（79.6%）、「都立府中の森公園」（79.5%）、「郷土の森博物館 郷土の森観光物産館」（77.7%）となっている。

市の観光地についての満足度は、「非常に良い」、「良い」、「やや良い」を合わせた『満足度の高い観光地』は、「大國魂神社」（97.8%）、「サントリー天然水のビール工場」（96.8%）、「高安寺」（95.5%）の順で高い。

図 25 市の観光地の知名度

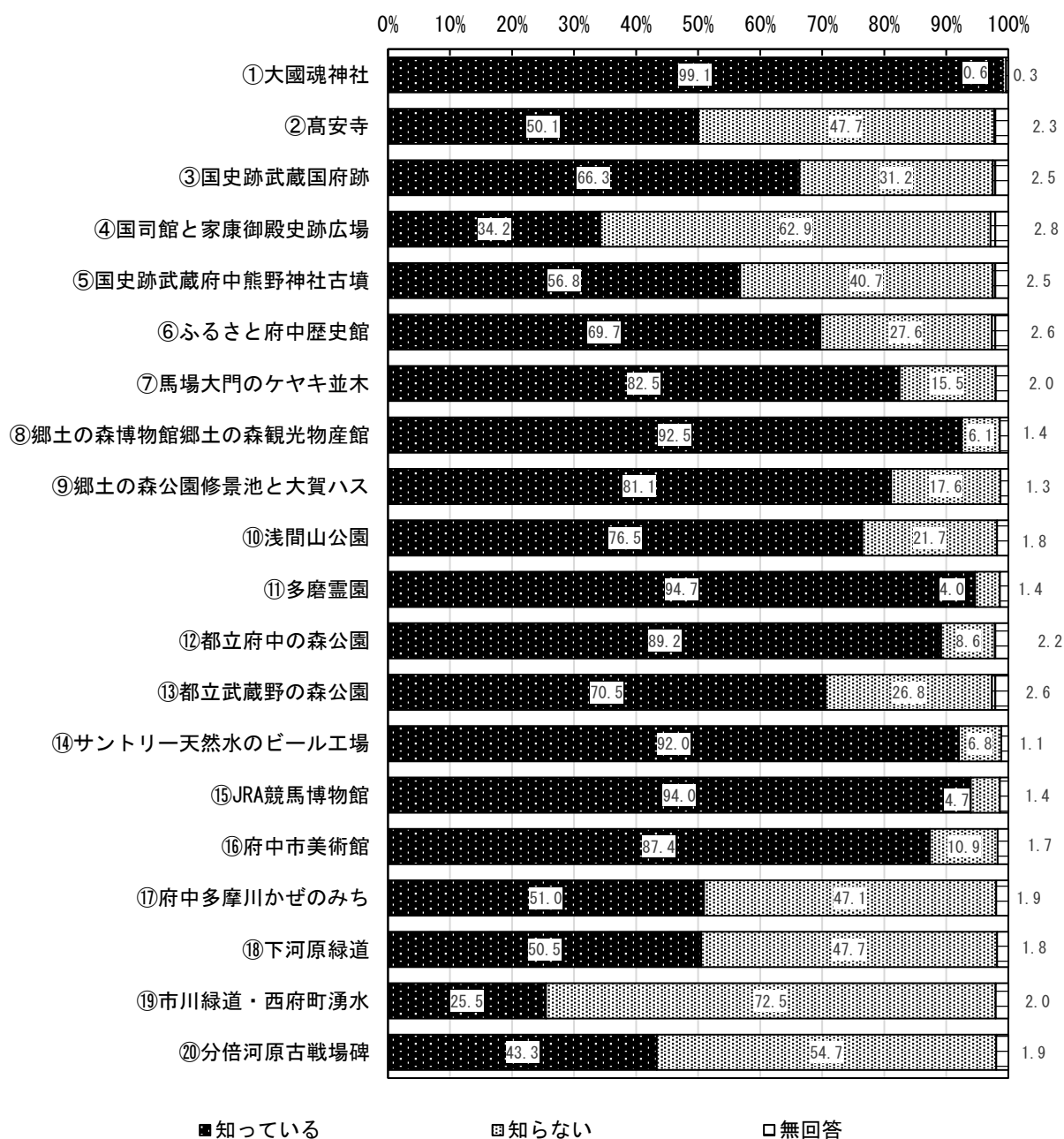


図 26 市の観光地の来訪の有無

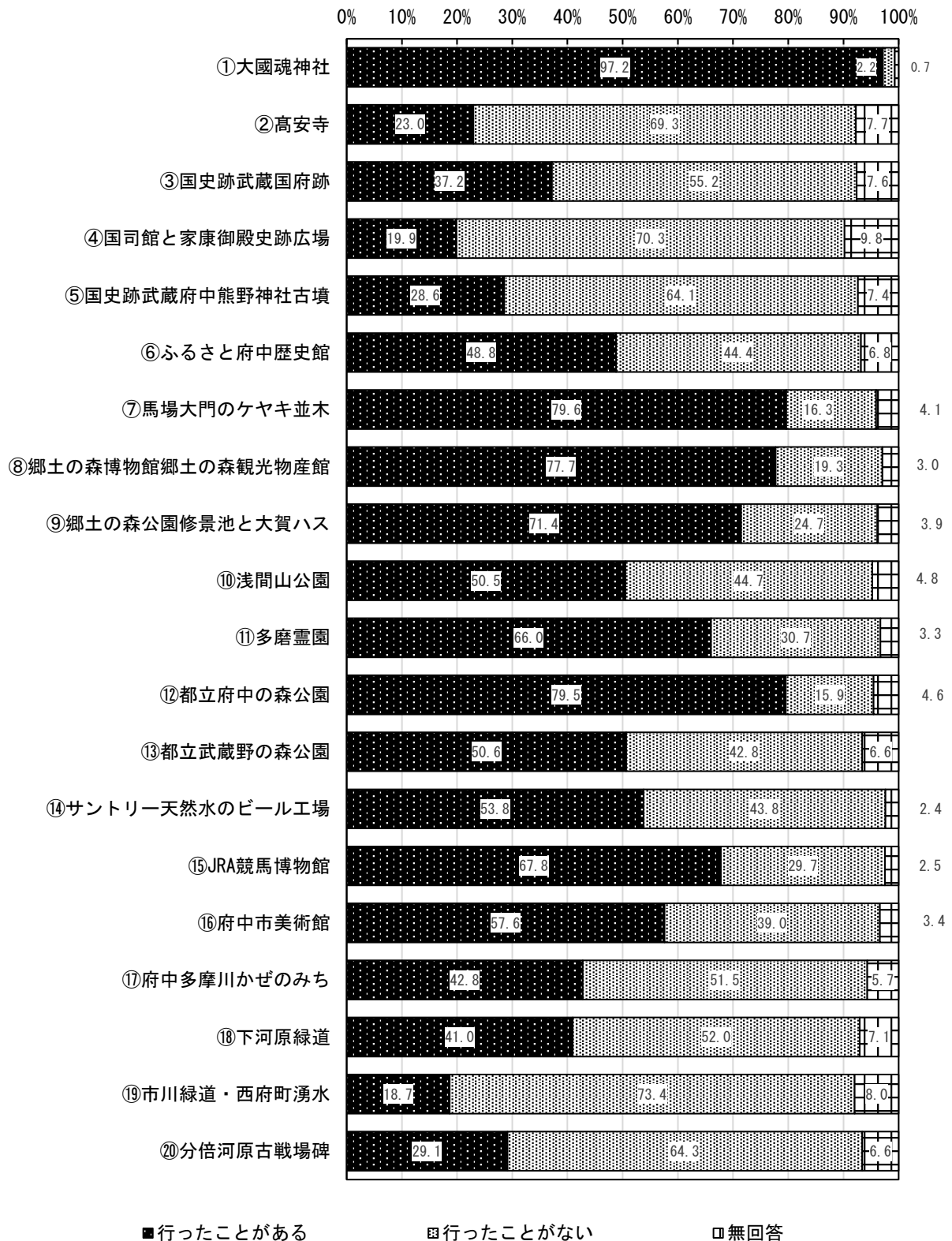
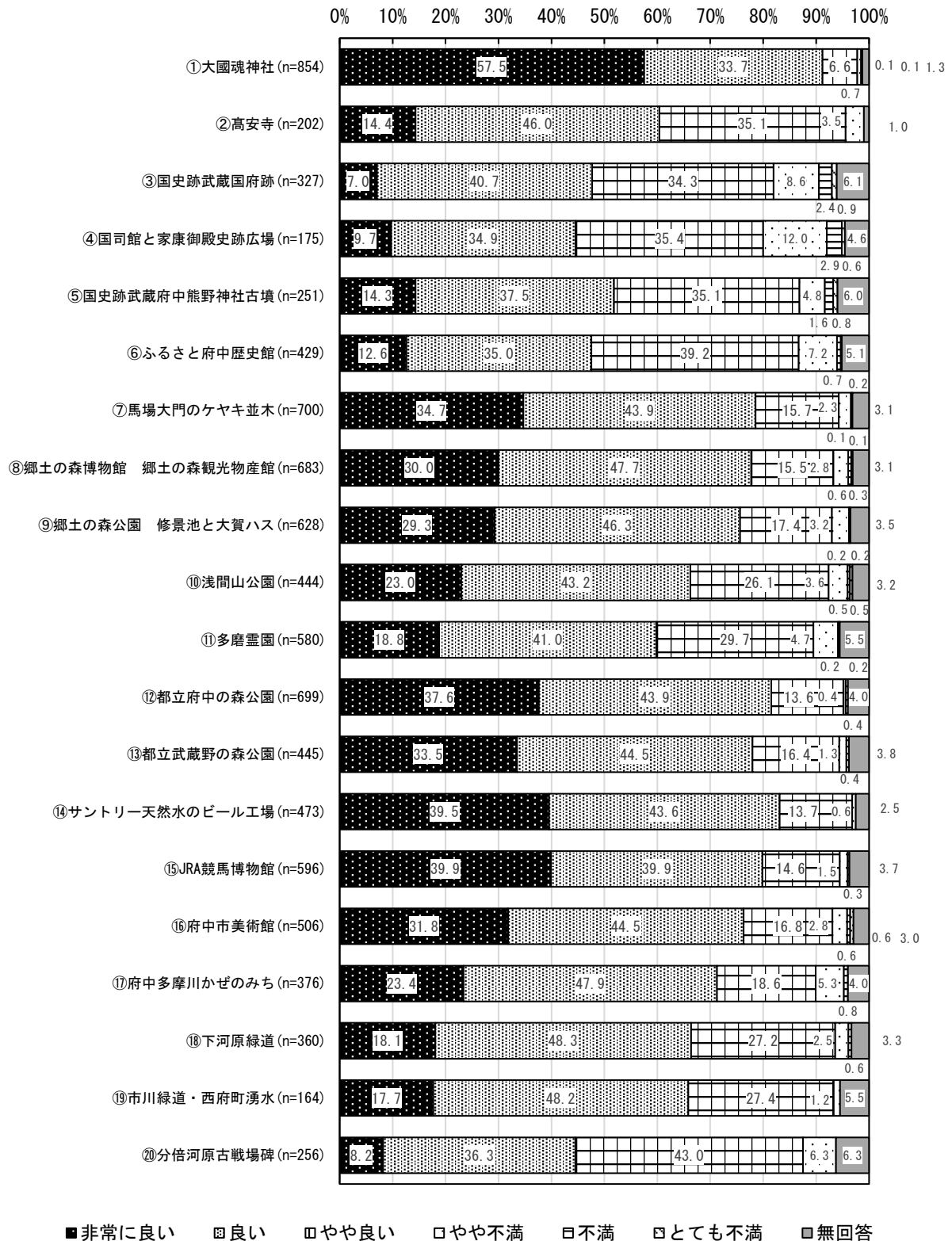


図 27 市の観光地の満足度



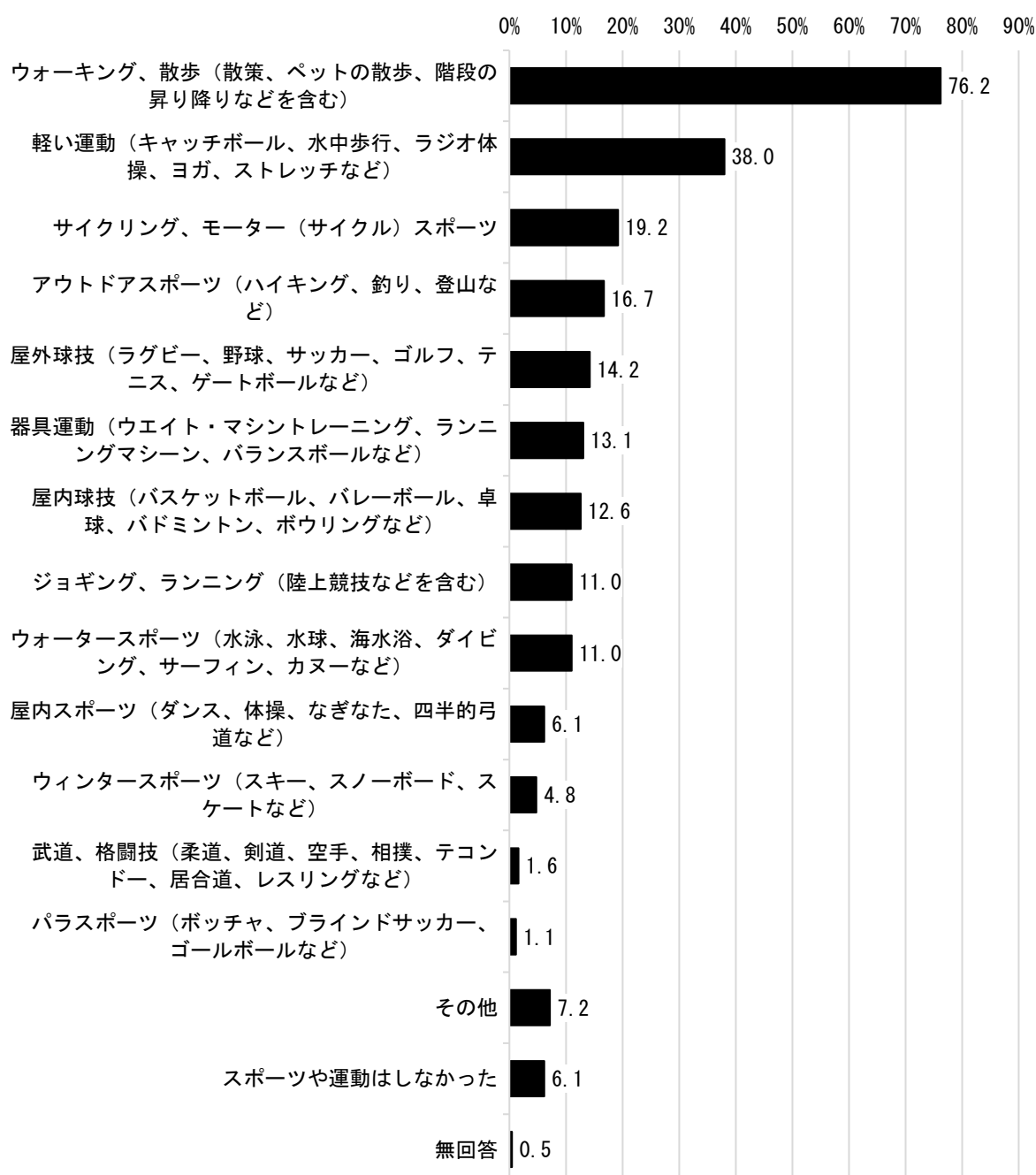
【スポーツ・運動】について

■ 1年間に行ったスポーツや運動について（n=879：複数回答）

この1年間に行ったスポーツや運動については、「ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、階段の昇り降りなどを含む）」（76.2%）が最も高く7割を超えている。続いて、「軽い運動（キャッチボール、水中歩行、ラジオ体操、ヨガ、ストレッチなど）」（38.0%）、「サイクリング、モーター（サイクル）スポーツ」（19.2%）の順となっている。

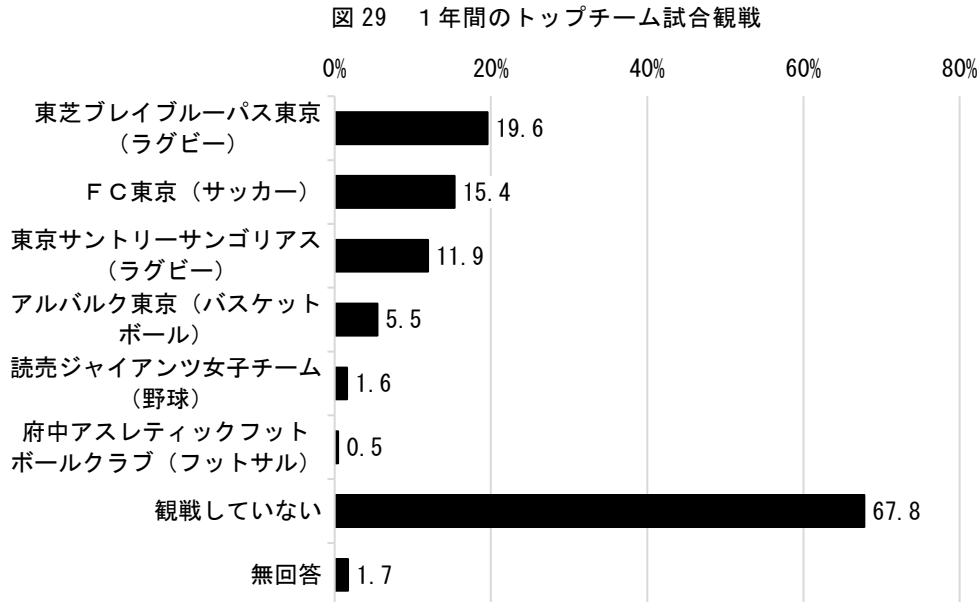
なお、1年間に行ったスポーツや運動の頻度が「1週間に1回以上」は60.6%となっている。

図 28 1年間に行ったスポーツや運動



■ 1年間で観戦した、府中市を拠点に活動するトップチームについて (n=879：複数回答)

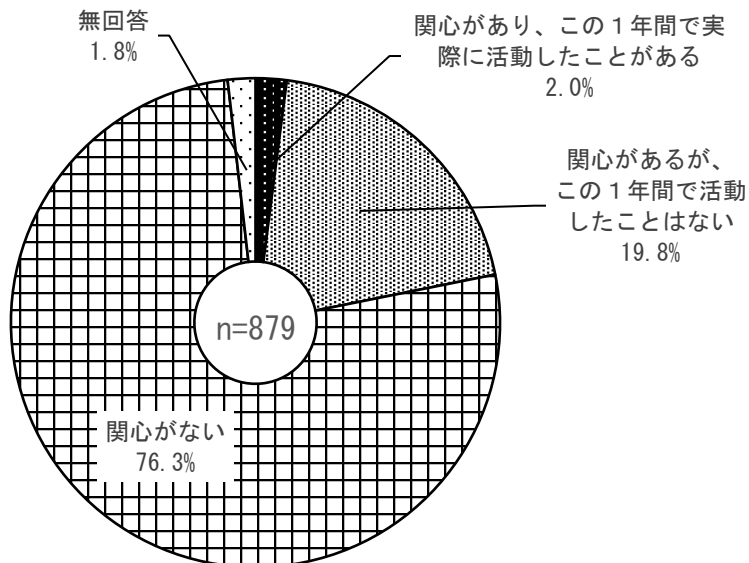
この1年間で観戦した、府中市を拠点に活動するトップチームについては、「東芝ブレイブルーパス東京（ラグビー）」（19.6%）で最も高く、続いて、「F C東京（サッカー）」（15.4%）、「東京サントリーサンゴリアス（ラグビー）」（11.9%）の順となっている。「観戦していない」は67.8%で7割近くとなっている。



■ スポーツに関するボランティアにおける考えと活動状況について (n=879)

スポーツに関するボランティアにおける考えと活動状況については、「関心がない」（76.3%）が最も高く、7割半ばを超えている。続いて、「関心があるが、この1年間で活動したことはない」（19.8%）、「関心があり、この1年間で実際に活動したことがある」（2.0%）の順となっている。

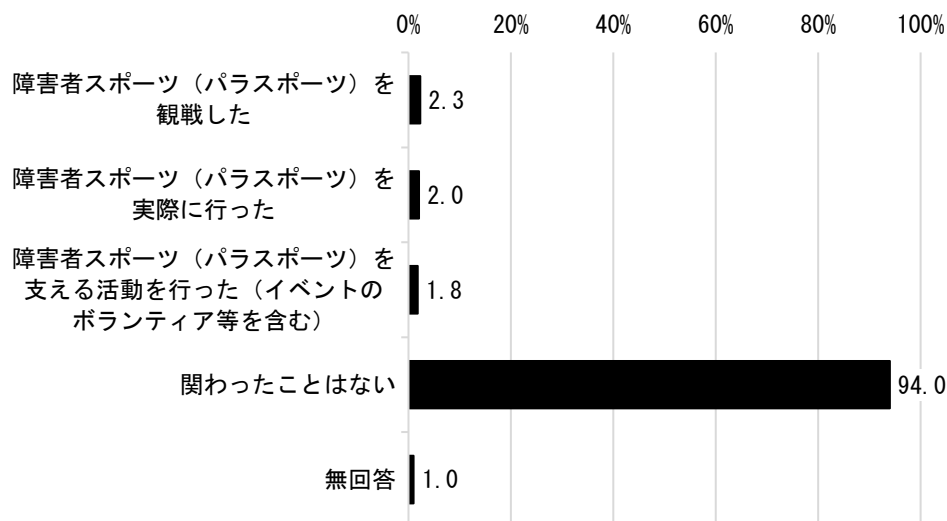
図 30 スポーツに関するボランティアにおける考えと活動状況



■障害者スポーツ（パラスポーツ）に関わった経験について（n=879：複数回答）

障害者スポーツへの関わりについては、「関わったことはない」が 94.0%で 9 割を超える。

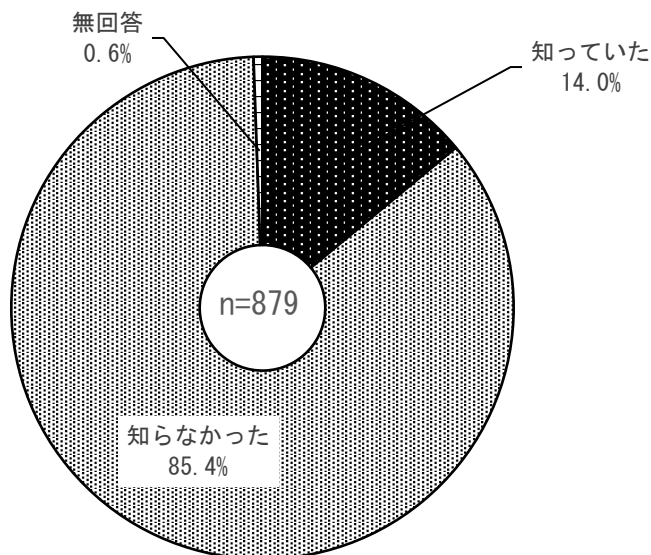
図 31 障害者スポーツへの関わり



■郷土の森総合体育館の移転予定の認知度について（n=879）

郷土の森総合体育館（府中市矢崎町）が府中基地跡地留保地（府中市浅間町）内に移転する予定であることを知っているかについて、「知らなかった」（85.4%）が 8 割半ばを超えており、「知っていた」は 14.0%となっている。

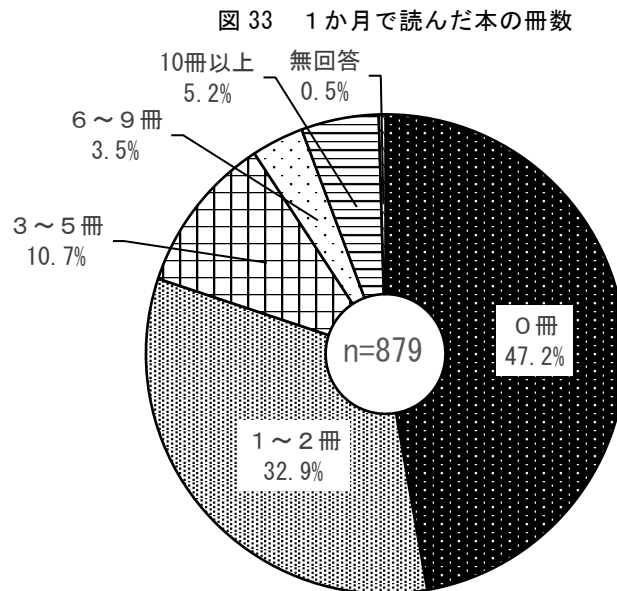
図 32 郷土の森総合体育館移転予定の認知度



【図書館】について

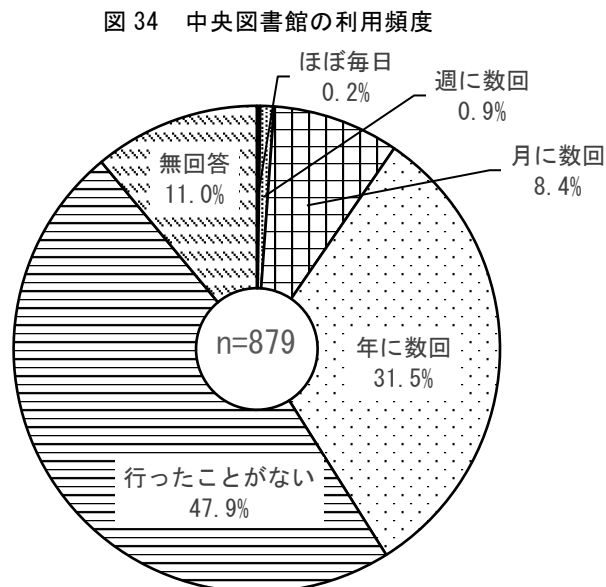
■ 1 か月で読んだ本の冊数について（n=879）

1 か月で読んだ本の冊数については、「0 冊」（47.2%）が最も高く、続いて、「1 ～ 2 冊」（32.9%）、「3 ～ 5 冊」（10.7%）となっている。

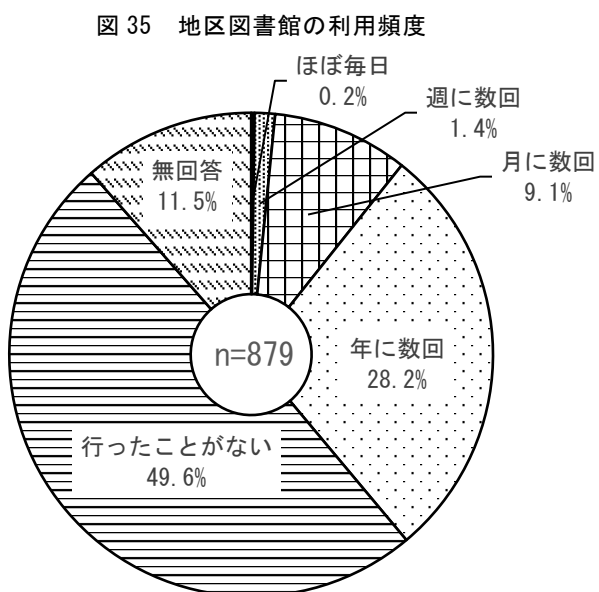


■ 中央図書館・地区図書館の利用頻度について（n=879）

中央図書館の利用頻度については、「行ったことがない」（47.9%）が最も高く、続いて、「年に数回」（31.5%）、「月に数回」（8.4%）となっている。



地区図書館の利用頻度については、「行ったことがない」（49.6%）が最も高く、続いて、「年に数回」（28.2%）、「月に数回」（9.1%）となっている。

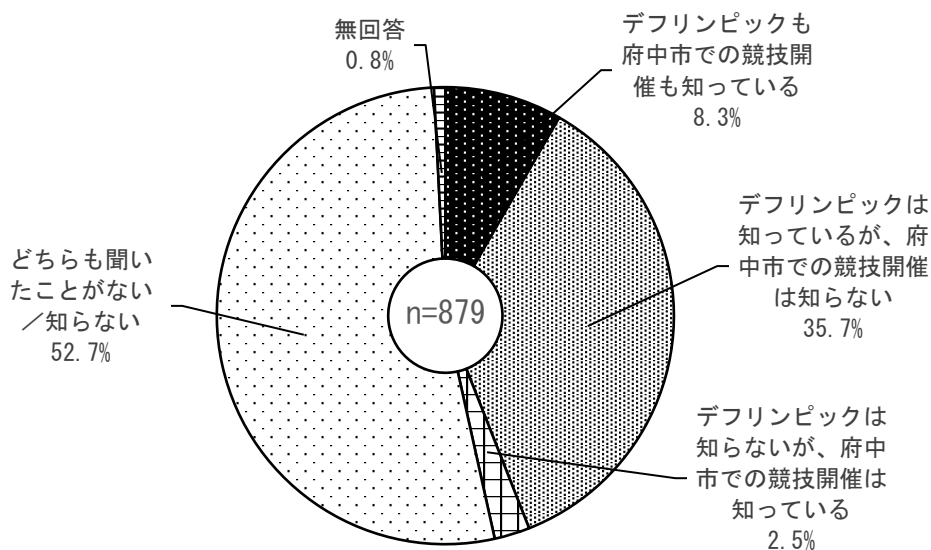


【東京2025デフリンピック】について

■デフリンピックの競技開催についての認知度について（n=879）

デフリンピックの競技開催については、デフリンピック及び府中市での開催を「どちらも聞いたことがない／知らない」（52.7%）が最も高く、5割を超えている。続いて、「デフリンピックは知っているが、府中市での競技開催は知らない」（35.7%）、「デフリンピックも府中市での競技開催も知っている」（8.3%）の順となっている。

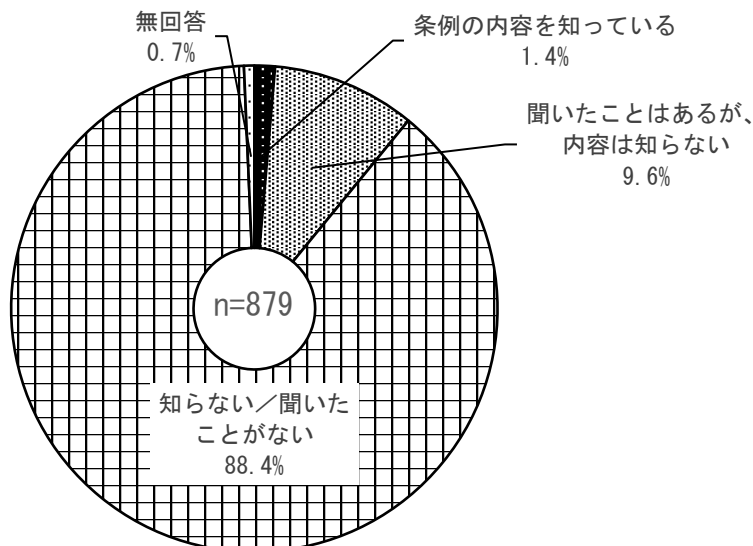
図 36 府中市のデフリンピック競技開催の認知度



■「府中市手話の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」の認知度について（n=879）

「府中市手話の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」の認知度については、「知らない／聞いたことがない」（88.4%）が最も高く、続いて、「聞いたことはあるが、内容は知らない」（9.6%）、「条例の内容を知っている」（1.4%）の順となっている。

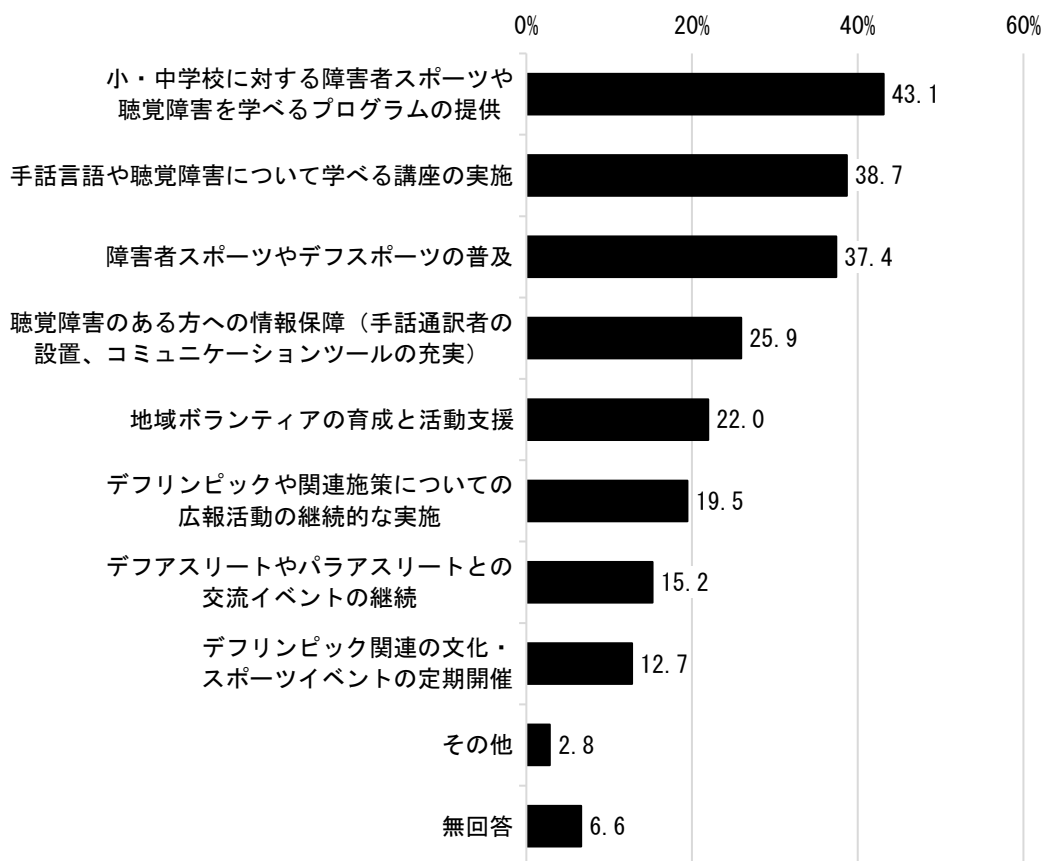
図 37 「府中市手話の普及及び障害者の意思疎通の促進に関する条例」の認知度



■デフリンピック開催後も継続・拡充すべきだと思うものについて (n=879：複数回答)

デフリンピック開催後も継続・拡充すべきだと思う取組については、「小・中学校に対する障害者スポーツや聴覚障害を学べるプログラムの提供」(43.1%)が最も高く、続いて、「手話言語や聴覚障害について学べる講座の実施」(38.7%)、「障害者スポーツやデフスポーツの普及」(37.4%)の順となっている。

図 38 デフリンピック開催後も継続・拡充すべき取組

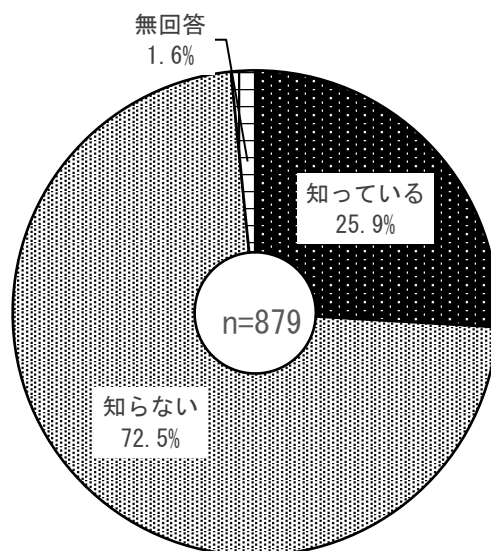


【障害者に対する差別・偏見】について

■「障害者差別解消法」の内容の認知度について（n=879）

「障害者差別解消法」の内容については、「知らない」（72.5%）が7割を超えており、「知っている」は25.9%となっている。

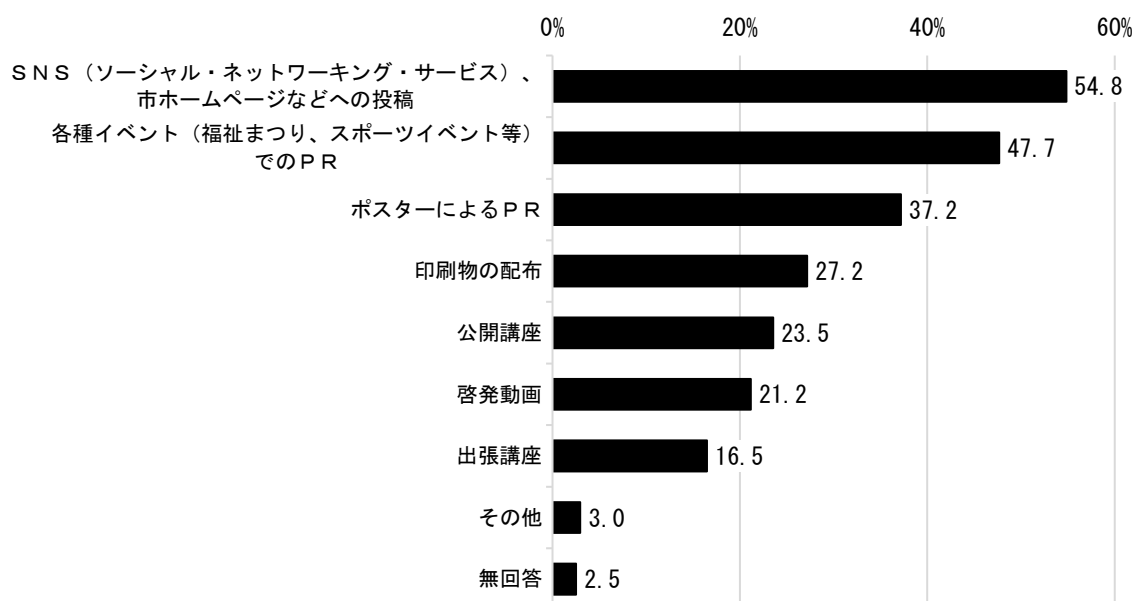
図 39 「障害者差別解消法」の内容の認知度



■障害者差別の解消に向けた、伝わりやすいと思う普及啓発方法について（n=879：複数回答）

伝わりやすいと思う障害者差別の解消に向けた普及啓発については、「SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）、市ホームページなどへの投稿」（54.8%）が最も高く、続いて「各種イベント（福祉まつり、スポーツイベント等）でのPR」（47.7%）、「ポスターによるPR」（37.2%）の順で高くなっている。

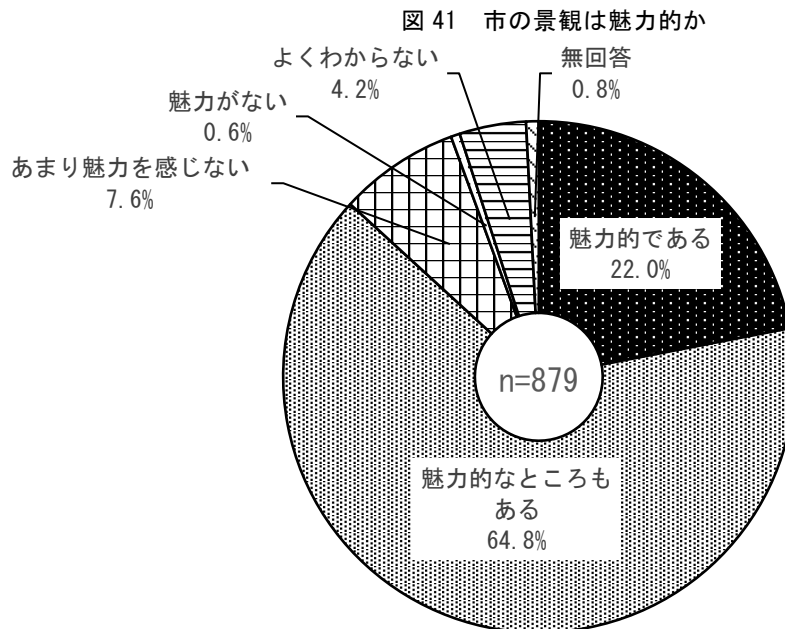
図 40 伝わりやすいと思う障害者差別の解消に向けた普及啓発



【景観まちづくり】について

■市の景観は魅力的かについて（n=879）

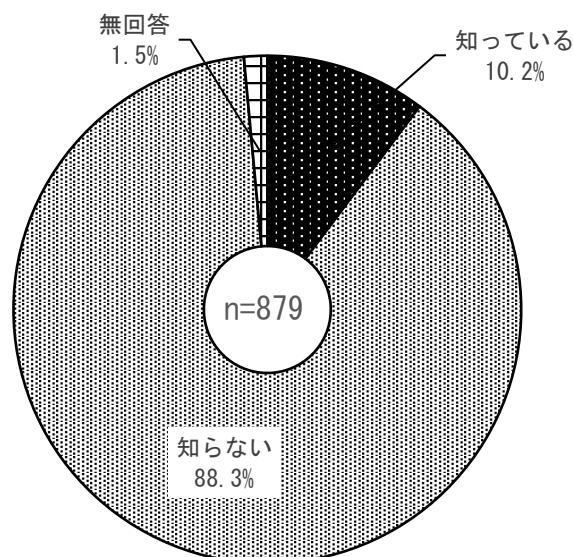
市の景観については、「魅力的なところもある」（64.8％）が最も高く、続いて、「魅力的である」（22.0％）、「あまり魅力を感じない」（7.6％）の順になっている。



■「府中市景観計画」に基づき良好な景観形成を推進していることの認知度について（n=879）

「府中市景観計画」に基づき市民・事業者・市の協働により、良好な景観形成を推進していることについては、「知らない」（88.3％）が9割近くとなっている。

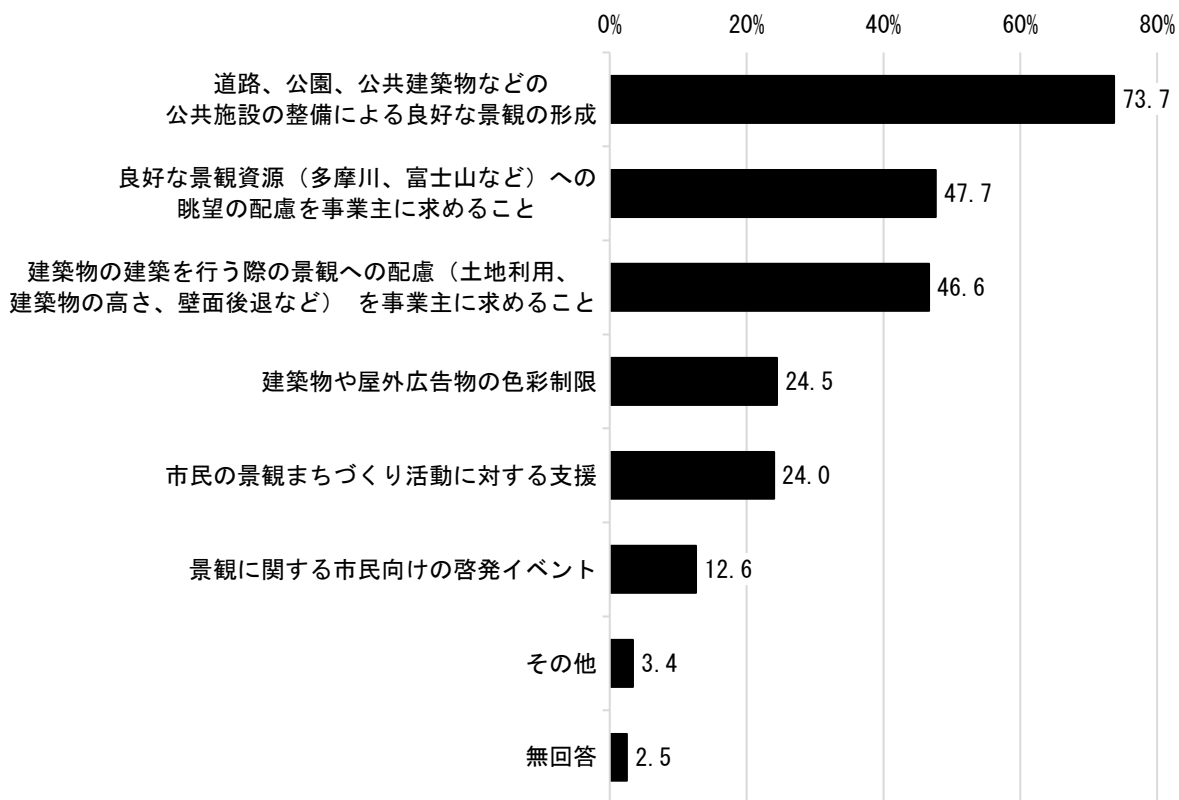
図 42 「府中市景観計画」に基づき良好な景観形成を推進していることの認知度



■景観まちづくりの取組について、今後、市で力を入れてほしいことについて（n=879：複数回答）

景観まちづくりの取組で、今後、市で力を入れてほしいことについては、「道路、公園、公共建築物などの公共施設の整備による良好な景観の形成」（73.7%）が7割を超えている。

図 43 景観まちづくりの取組で力を入れてほしいこと



第 5 7 回府中市市政世論調査（概要版）

令和 7 年 1 1 月

発行：府中市市民協働推進部広聴相談課

東京都府中市宮西町二丁目 24 番地

Tel 042-366-1711

実施：株式会社リサーチワークス

東京都中央区新富 1 丁目 14 番 3 号

Tel 03-6833-4641